

第 101 回 問 181

72 歳男性。1 年前より、一定の距離を歩行すると右のふくらはぎ（腓腹筋）に痛みを感じていたが、歩行をしばらく中止すると改善するので、放置していた。1 ヶ月前から次第に症状が悪化してきたため、近医を受診した。このとき測定した血圧は、以下の通りであった。また MRI で右総腸骨動脈に閉塞を認めた。この患者に対する治療薬について、医師から薬剤師に相談があった。提案すべき適切な薬剤はどれか。2つ選べ。

(血圧)

左 上腕	138/72 mmHg	足関節	152/78 mmHg
右 上腕	134/70 mmHg	足関節	94/52 mmHg

- 1 ワルファリンカリウム
- 2 シロスタゾール
- 3 ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩
- 4 リバーロキサバン
- 5 サルポグレラート塩酸塩

【解説】

本患者は自覚症状として、間欠性跛行（痛みがあるが、歩行をしばらく中止すると改善する）があり、また、右側の足関節上腕血圧比（ABI）が 0.9 以下（右足関節の収縮期の血圧／右上腕の収縮期の血圧 \div 0.7）であることから、本患者は、閉塞性動脈硬化症（ASO）であると考えられる。ASO の治療には、血小板凝集抑制作用及び血管拡張作用を有する「シロスタゾール」「サルポグレラート」が用いられる。

- 1 誤：ワルファリンは、ビタミン K 拮抗作用を有する抗凝血薬であり、ASO の治療には用いられない。
- 2 正
- 3 誤：ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩は、直接トロンビン阻害作用を有する抗凝血薬であり、ASO の治療には用いられない。
- 4 誤：リバーロキサバンは、血液凝固因子第 Xa 因子阻害作用を有する抗凝血薬であり、ASO の治療には用いられない。
- 5 正

【解答】 2、5



yakugaku
lab

<http://yakugakulab.info>